エスビー 食品

2050 年カーボンニュートラル CO₂ 排出量削減で目標設定



▲「麻」の繊維を漉き込ませた名刺

エスビー食品グループは、「食卓に、自然としあわせを。」という企業理念のもと、地球環境保全を経営上の重要な課題のひとつと位置付け、企業活動から環境負荷の低減と循環型社会への貢献をめざしている。

環境保全活動を積極的に推進するため、①国内外法規制遵守②環境目的・目標の設定③環境負荷の低減④商品開発⑤環境教育⑥地域との共生——の6つで構成する環境基本方針を定め、環境マネジメントに取り組んでいる。

具体的には、環境基本方針に基づき、CO₂排出量の削減、自然冷媒の活用、水使用量の削減、食品廃棄物の削減、廃棄物の削減とリサイクルの促進、麻袋のリサイクルといった環境負荷低減活動を推進している。

基幹原料であるスパイスとハーブの原料の一部は世界中の産地から麻袋に入れられて工場に運ばれてくるが、この麻袋も、廃棄するのではなく、粉砕し、その繊維を紙としてよみがえらせることで、リサイクルしている。その紙は19年から名刺に使用されている。

 CO_2 排出量の削減については、これまでも取り 組みを進めてきたが、2021 年 10 月、新たに「2050 年カーボンニュートラル」目標を設定した。これ からは「2050 年カーボンニュートラル」目標の 達成に向けて、より積極的に取り組みを進めてい く。

中長期目標の基準年としている 19 年度の CO。

排出量は、事業活動に伴う直接排出のスコープ1と間接排出のスコープ2の合計で約4万t-CO₂、製品の使用・廃棄、輸送、従業員の出張・通勤、その他の排出であるスコープ3を加えたサプライチェーン全体で約44万t-CO₂。スコープ3が全体の約9割を占めている。

スコープ1とスコープ2については、30年度に19年度比50%削減の目標を設定している。この目標を達成するための施策として、省エネルギー活動やCO₂発生の少ない燃料への転換、バイオマス、太陽光をはじめとする再生可能エネルギー利用などの検討を進めていく。

スコープ 3 については、30 年度に 19 年度比 30% 削減の目標を設定している。特に原材料がサプライチェーン全体の CO_2 総排出量の約 6 割を占めていることから、原料サプライヤーとの CO_2 排出量削減に向けた対話・連携などに取り組んでいく。

なお、20 年度の CO_2 排出量(スコープ $1\cdot$ スコープ 2)は 19 年度比で約 4.4%削減されている。 工場や各事業所の照明の LED 化・人感センサー化、老朽設備の更新、空調や冷凍・冷蔵機の更新を順次行い、省エネルギー化を進めた効果が出た。 また、19 年度のサプライチェーン CO_2 排出量(スコープ 3)約 40 万トンは「2050 年カーボンニュートラル化」目標に合わせて算出したもの。 20 年度についてもスコープ 3 の算出を進めていくことにしている。